

テーマ 1 結婚・出産・子育て支援



目指す状態

子どもを安心して産み育てることができ、子どもが伸びやかに育つ

テーマをめぐる社会的な状況

- わが国では、少子化が進行する中で、地域コミュニティの希薄化に伴い、子育てに不安や孤独を感じる家庭が増えています。子どもを安心して産み育てることができる制度や環境づくり、地域で子どもと子育て家庭を支える仕組みなど、未来を担う子どもたちが伸びやかに成長する社会の実現が求められています。

成果指標

■年少人口

現状値： 27,285 人（令和 2（2020）年 10 月）

目標値： 26,333 人（令和 7（2025）年度）

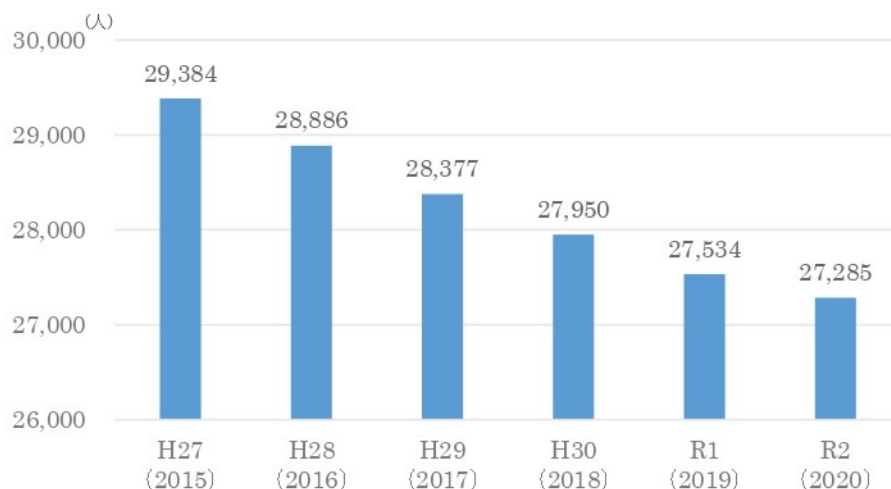
指標の説明

年少人口は 0～14 歳までの人口。
出生や子育てに関する各種支援策の結果として表れる数値のため、この指標を選定。

目標の根拠

年少人口の減少が今後想定される中で、その減少を緩和するため、第 2 期上尾市地域創生長期ビジョンに『将来展望人口』として掲げる数値を目標値とする。

【図表】本市年少人口（0-14 歳）の推移



※住民基本台帳による各年 10 月時点の実績値

まちづくりの基本方向 1 明日を担う人が育つまちづくり

施策 1 結婚支援及び妊活・妊娠から子育てまで切れ目ない支援の充実

現況と課題	取組の方向	主な事業・取組
《結婚・出産・子育て支援》 <ul style="list-style-type: none"> ● 核家族化や晩婚化、若年妊娠等によって、妊娠や産前産後の身体的・精神的に不安定な時期に、まわりの十分な支援が得られず、育児不安やうつ状態の中で育児を行う母親に対し、孤立を防ぎ、育児不安の解消につながるさまざまな支援を行うことが必要となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性が安心して妊娠・出産することができるよう支援します。 (子ども支援課・子育て支援センター・子ども家庭総合支援センター・健康増進課) ● 乳幼児が健やかに成長・発達するように支援します。(子ども支援課・子育て支援センター・子ども家庭総合支援センター・健康増進課) ● 育児、家族関係、貧困など子育てについての複合的な問題を一体的に支援します。(子ども支援課・子ども家庭総合支援センター・発達支援相談センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 妊娠中の健康管理の実施 ● プレママ教室の開催 ● 不妊症及び不育症に関する支援 ● 乳幼児健診等の実施 ● 積極的な育児情報の提供 ● 子ども家庭総合支援拠点などの相談体制の構築
<ul style="list-style-type: none"> ● 出生率の低下が問題となっており、子育て環境の充実が重要な課題となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 妊娠中の生活から出産、子育て期にわたり切れ目ないサポートの充実を図ります。(子ども支援課・子育て支援センター・子ども家庭総合支援センター・健康増進課) 	<ul style="list-style-type: none"> ● あげお版ネウボラの充実 ● 男性の育児参加の促進
<ul style="list-style-type: none"> ● 結婚を望む市民に対する支援が求められます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 出会いから交際、結婚までの支援に努めます。(子ども支援課) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 結婚に関する情報提供等の実施

施策 2 地域における子育て支援の強化と遊び場づくり

現況と課題	取組の方向	主な事業・取組
《地域の子育て力》 <ul style="list-style-type: none"> ● 近所付き合いなど地域の人とのつながりが希薄化しており、子育て家庭が孤立することもあることから、地域の中で子育てに関する不安や悩みを相談したり、楽しさを共有できる人や場所が求められています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て家庭の育児不安の解消を図るとともに、社会的支援が必要な子どもに対する支援に努めます。 (子ども支援課・子育て支援センター・子ども家庭総合支援センター・青少年課) ● 子育て中の親子が集い、遊びなどを通じて楽しみながら交流できる場を提供します。 (子ども支援課・子育て支援センター・青少年課) ● 児童館の講座や事業の内容の充実に努めます。(青少年課) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域子育て支援拠点やファミリーサポートセンターの活動の充実 ● 関係機関・地域組織と連携した子育てに関する講座や相談等の充実 ● 児童館における子育て相談の実施 ● 子育て支援事業の実施 ● 年齢に応じた事業の実施

施策 3 就学前保育・幼児教育の充実

現況と課題	取組の方向	主な事業・取組
《就学前保育・幼児教育》 <ul style="list-style-type: none"> ● 共働きの家庭が増えており、就労状況に関わらず保護者が安心して子どもを預けられる環境の整備が求められます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育・保育施設の運営を支援するなど、保育を必要とする保護者のニーズに対応します。(保育課) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもを預けられる環境の整備・充実
<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な保育ニーズに対応するための保育士の確保と保育内容の充実が必要となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 質の高い保育を提供します。(保育課) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育人材の確保と資質向上、処遇改善及び保育内容の充実
<ul style="list-style-type: none"> ● 交流保育の充実、医療的ケア児の受け入れ拡大と発達の特長や障害に応じた切れ目ない支援が求められます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公立保育所とつくし学園、発達支援相談センターの一体化した運営を行います。(保育課・発達支援相談センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども・子育て支援複合施設の整備・運営
<ul style="list-style-type: none"> ● 人間形成の基礎が培われる重要な時期である幼児期の教育について、幼稚園、認定こども園、保育所(園)、小学校などとの連携を支援する必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼児教育関係者が連携して効果的な取組ができるよう支援します。(指導課) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼児教育関係者による情報交換や調査・研究及び合同研修会の実施

施策4 放課後児童健全育成の充実

現況と課題	取組の方向	主な事業・取組
《放課後児童健全育成》 <ul style="list-style-type: none"> 共働きの保護者が増えており、就労状況に関わらず保護者が安心して子どもを預けられる環境の整備が求められます。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象に、放課後に施設を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全育成を図ります。(青少年課) 公民館等を活用して子どもの放課後の体験活動や学びの場を提供します。(生涯学習課) 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブの支援 放課後子供教室の実施

施策5 子育て家庭の負担の軽減及びひとり親家庭への自立支援

現況と課題	取組の方向	主な事業・取組
《経済的負担》 <ul style="list-style-type: none"> 保育や教育、医療をはじめ子育てで生じる経済的な負担を軽減するための支援が必要になっています。 ひとり親家庭の経済的自立への支援が求められます。 子どもが生まれ育った環境に左右されることがなく、心身ともに健やかに育成され、子ども一人一人が夢や希望を持てるようにすることが求められています。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭の経済的な負担を軽減し、子どもの健やかな成長を支援します。(子ども支援課・保育課) ひとり親家庭が安定した生活を送るための支援をします。(子ども支援課・子ども家庭総合支援センター) 子どもの貧困対策を推進するために取り組むべき課題や施策の方向性を定めます。(子ども支援課) 	<ul style="list-style-type: none"> 児童手当の支給や医療費の助成 幼児教育・保育の無償化 児童扶養手当の支給や医療費の助成 就業のための教育訓練等への助成 母子・父子自立支援員による相談 子どもの貧困対策計画の策定

施策6 児童虐待の防止

現況と課題	取組の方向	主な事業・取組
《児童虐待》 <ul style="list-style-type: none"> 子育て中の保護者が孤立することで、虐待につながるおそれもあることから、保護者の悩みの軽減、関係機関・団体等と連携した虐待の予防や早期発見が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待の予防、早期発見、早期対応を図ります。(子ども家庭総合支援センター) 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども支援ネットワーク内の連携強化 子どもや保護者からの相談窓口(面談、電話等) 児童虐待の防止のための地域での見守りについての周知